

病院再編統合にかかる事業計画書

作成日：令和5年4月28日

岐阜県厚生農業協同組合連合会

飛騨医療センター 久美愛厚生病院

岐阜県厚生農業協同組合連合会

飛騨医療センター 高山厚生病院

目次

I. 本事業にかかる統合再編病院等の概要.....	3
1. 岐阜県厚生農業協同組合連合会 飛騨医療センター 久美愛厚生病院.....	3
2. 岐阜県厚生農業協同組合連合会 飛騨医療センター 高山厚生病院.....	4
II. 構想区域における現状と課題.....	4
III. 統合計画の概要	5
IV. 具体的計画について.....	6
1. 統合後の診療体制.....	6
2. 廃止病院における既存債務の処理方法.....	6
3. 統合完了予定年月日.....	6

I. 本事業にかかる統合再編医療機関の概要

久美愛厚生病院と高山厚生病院は、高山市に立地する岐阜県厚生農業協同組合連合会が設置、運営する公的医療機関である。

1. 岐阜県厚生農業協同組合連合会 飛騨医療センター 久美愛厚生病院

・平成24年5月に現在地に新築移転を行い、急性期を中心に回復期、緩和ケア医療を提供している。

医療機関名称	飛騨医療センター 久美愛厚生病院
開設主体	岐阜県厚生農業協同組合連合会
所在地	岐阜県高山市中切町1番地1
構想区域	飛騨圏域
許可病床数	総許可病床数300床 急性期216床、回復期49床、慢性期23床 結核病床8床、感染病床4床
稼働病床数	総稼働病床数300床 急性期201床、回復期49床、慢性期23床 結核病床8床、感染病床4床 休棟等15床
1日あたり患者数 (稼働率)	入院患者数 176.6人/日(58.9%) 外来患者数 426.2人/日
標榜診療科	内科、循環器内科、心療内科、精神科、小児科、外科、呼吸器外科 整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科 耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
職員数	410.5人
(医師)	42.8人
(看護職員)	238.2人
(専門職)	73.2人
(事務職員)	25.9人

※許可病床数、稼働病床数、職員数：令和5年3月31日現在

1日あたり患者数：令和4年度実績

2. 岐阜県厚生農業協同組合連合会 飛騨医療センター 高山厚生病院

- ・平成14年12月に旧国立療養所高山病院より経営移譲を受け、以後慢性期医療を提供している。
- ・施設・設備は築後49年が経過し、狭隘化・老朽化が著しく事業継続が困難な状況である。

医療機関名称	飛騨医療センター 高山厚生病院
開設主体	岐阜県厚生農業協同組合連合会
所在地	岐阜県高山市山口町1280番地
構想区域	飛騨圏域
許可病床数	総許可病床数100床 慢性期100床（医療療養44床、介護療養56床）
稼働病床数	総稼働病床数100床 慢性期100床（医療療養44床、介護療養56床）
1日あたり患者数 （稼働率）	入院患者数 89.1人/日（89.1%） 外来患者数 10.9人/日
標榜診療科	内科、整形外科、リハビリテーション科
職員数	77.5人
（医師）	2.1人
（看護職員）	33.2人
（専門職）	8.0人
（事務職員）	2.6人

※許可病床数、稼働病床数、職員数：令和5年3月31日現在

1日あたり患者数：令和4年度実績

II. 構想区域における現状と課題

- ・飛騨圏域では急性期病床、慢性期病床が過剰であり、全体で294床過剰となっている。

<飛騨圏域の令和3年病床機能報告制度と必要病床数>

	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	合計
令和3年病床機能報告	16床	761床	293床	205床	25床	1,300床
必要病床数	108床	380床	326床	192床		1,006床
差	▲92床	381床	▲33床	13床	25床	294床

Ⅲ. 統合計画の概要

- ・久美愛厚生病院と高山厚生病院の病床再編・統合を行う。
- ・高山厚生病院（医療療養44床、介護療養56床）は、廃院する。
- ・久美愛厚生病院は、急性期病床等を縮小し、高山厚生病院が担っていた慢性期病床へ機能転換を行う。

久美愛厚生病院	機能	稼働病床数
	高度急性期	床
	急性期	201床
	回復期	49床
	慢性期 (緩和ケア)	23床
	結核病床	8床
	感染病床	4床
	休棟等	15床
	病床数合計	300床

久美愛厚生病院	機能	許可病床数
	高度急性期	床
	急性期	182床
	回復期	49床
	慢性期 (医療療養)	57床
	結核病床	8床
	感染病床	4床
	休棟等	
	病床数合計	300床

高山厚生病院	機能	稼働病床数
	高度急性期	床
	急性期	床
	回復期	床
	慢性期	100床
	休棟等	床
病床数合計	100床	

高山厚生病院	機能	許可病床数
廃院		

慢性期機能の移管・効率化

IV. 具体的計画について

1. 統合後の診療体制

- ・久美愛厚生病院の急性期病床を201床から182床へ縮小する。
- ・緩和ケア病棟（慢性期：23床）は廃止し、統合後は対象患者を急性期病床で受入を行う。
- ・久美愛厚生病院に医療療養病床（慢性期）を57床整備し、高山厚生病院が担っていた医療を提供する。なお、医療療養病床（慢性期）の病床数を確保するため、休床病床（15床）の復床を行う。
- ・高山厚生病院は廃院する。

病院名称	久美愛厚生病院	
構想区域	飛騨圏域	
許可病床数	300床	
区分ごとの病床数	高度急性期	0床
	急性期	182床
	回復期	49床
	慢性期	57床
	結核病床	8床
	感染病床	4床
標榜診療科	内科、循環器内科、心療内科、精神科 小児科、外科、呼吸器外科、整形外科 脳神経外科、皮膚科、泌尿器科 産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科 リハビリテーション科、放射線科、麻酔科	

2. 廃止病院における既存債務の処理方法

高山厚生病院は解体予定。後利用については未定。

3. 統合完了予定年月日

統合完了予定年月日	令和5年11月1日
-----------	-----------

■支給申請額算定シート

番号	統合関係医療機関の名称	開設者氏名	統合関係医療機関の住所・所在地
II	岐阜県厚生農業協同組合連合会 飛騨医療センター 高山厚生病院	岐阜県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長 谷口 直樹	岐阜県高山市山口町1280番地
	構想区域	統合後の状況	
	飛騨圏域	廃止	

1	統合前の稼働病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分(※3)の合計
	① 平成30年度病床機能報告				100		100	100
	② 令和2年4月1日時点(※1)				100		100	100
	③ 統合前病床数=②(※2)	0	0	0	100	0	100	100

- ※1 各機能ごとの数値については、地域医療構想調整会議にて確認されていること。
令和2年4月1日時点で病床数の変化があった場合は、変更前の病床数を記載すること。
平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は、①と同じ値を記載すること。
- ※2 ①平成30年度病床機能報告時又は②令和2年4月1日時点の対象3区分合計のいずれか少ない方を基準とする。
- ※3 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

2	統合後の許可病床数 (=統合後の稼働病床数)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
						0	0	0

3	他の統合関係医療機関との 病床融通数(※4)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
						0

- ※4 他の統合関係医療機関から病床の融通を受けた場合はマイナス表記、病床を融通した場合はプラス表記とすること。

4	対象3区分から 回復期又は介護医療院へ 転換した病床数	回復期	介護医療院	合計
		0		0

5	減少病床数 (1の③-2)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
		0	0	0	100	0	100	100

5.減少数	4.うち転換数	3.うち他院への 融通数	支給対象
100	0	0	100

6	統合前の許可病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
	① 平成30年度病床機能報告				100		100	100
	② 令和2年4月1日時点(※5)				100		100	100

- ※5 平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は、①と同じ値を記載すること。

7	対象3区分の病棟の 年間在棟患者延べ数(人)	高度急性期	急性期	慢性期	合計
	① 平成30年度病床機能報告(※6)			34,835	34,835
	② 令和2年4月1日時点(※7)				0

- ※6 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。
○ 補正後の年間在棟患者延べ数=年間在棟患者延べ数(48)欄に記載された数値÷報告可能な対象期間(月単位)×12
(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。
例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日~平成30年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位)=6

- ※7 6の①と6の②の値が同じ場合は7の②の入力は不要。

8	<選択>	対象3区分の病床稼働率	一日平均実働病床数	適用
	A 平成30年度病床機能報告	95.4%	95	
	B 令和2年4月1日時点	0.0%	0	

9	統合前の対象3区分の稼働病床 数から一日平均実働病床数まで の減少分に係る支給額	単価(千円)	病床数	支給額(千円)
		2,280	5	11,400

10	一日平均実働病床数から統合後 の対象3区分の許可病床数まで の減少分に係る支給額	単価(千円)	病床数	支給額(千円)
		2,280	95	216,600

11	重点支援区域における統合計画	非該当	×1.0
----	----------------	-----	------

12	支給申請額(千円)	228,000
----	-----------	---------